

# 平成26年度 見附市英語・外国語活動部 活動報告

部長 大滝 裕

## 1 研究主題

英語・外国語活動における小・中連携

## 2 研究の概要

模擬授業(HRTとALTによるT・Tの授業及びHRTのソロの授業)を通して小学校外国語活動を体験的に理解するとともに、グループ協議や中学校区ごとの話し合いにより、小・中連携を深める。

## 3 研究の実際

見附市の英語・外国語活動部では、小・中連携を研究主題とし、各中学校区単位で連携を進めている。

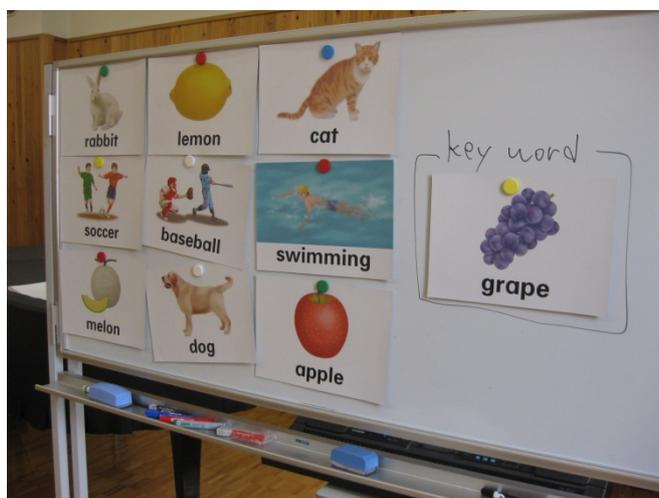
今年度の研修会では、中学校教諭が小学校外国語活動の授業を参観する機会が少ないという現状を踏まえ、外国語活動を体験的に理解するという目的で模擬授業を中心に研修会を行った。

研修会前半は、二つの模擬授業を行った。一つ目は、HRTとALTによるT・Tの授業である。部員が児童の役となり、HRTとALTのやりとりからどのような場面かを予想したり、電子黒板で視覚的に様々な表現に触れたり、充実した活動となった。

二つ目は、HRTのソロの授業であった。「キーワードゲーム」をアレンジした「キーセンテンスゲーム」を行った。リズムに乗りながら言葉を繰り返すことで、自分の好きな物や嫌いな物を伝える表現に慣れ親しんだ。

後半は、各部員が持参した資料を用いて、グループでの話し合いを行った。資料は、それぞれの部員が今年度行った実践の概要と授業時の児童・生徒の様子、反省点(成果と課題)をまとめたものである。

最後に、各中学校区で情報交換を行うとともに、今後どのようにして連携を深めていくかを話し合った。



## 4 成果と課題

外国語活動の模擬授業では、児童役となった部員は、チャンツやゲーム、コミュニケーション活動を通して外国語活動の楽しさに触れることができた。

持参した資料を用いての話し合いでは、各グループで活発に意見交換がなされただけでなく、資料を全部員に配布することで、小学校外国語活動、中学校英語科でどのような授業が行われているかを全体で共有することができた。中学校で行っている指導法を小学校でも生かしたいといった声や外国語活動で使われているチャンツやゲームを2学期以降に中学校でも活用したいといった声も聞かれた。

今後は、今年度の成果を踏まえ、各中学校区での連携を強化するとともに、中学校区間の連携、市全体での外国語活動・英語科の充実に取り組んでいく必要がある。